

議会改革の動き

改革に向けた岡山市議会の活動状況を掲載

議会の一問一答制度等

平成24年2月3日に、議会改革等推進会議座長から議長へ第3次答申が行われました。

継続して、議会基本条例について積極的に検討を進めています。

【第3次答申の主な内容】

1 質問・答弁のあり方等

(1)代表質問については、従来どおり一括質問とするが、答弁については、市民によりわかりやすくするため、質問の大項目ごとに分割して答弁を行う。

(2)個人質問については、1回目の

質問は一括質問とするが、2回目以降は、一括質問又は一問一答のいずれかの方法を選択する。

1回目の答弁及び一括質問を選択した場合の答弁は、代表質問と同様に質問の大項目ごとに分割して答弁を行う。

(3)質問の大項目ごとに行う分割答弁については、その手法等について市長等と十分協議を行う。

2 反問権

論点を明確にするため、質問した議員に対し市長等から反問することを認める。

3 試行を行う定例市議会

平成24年2月定例市議会及び6月定例市議会で行うことが望ましい。－なお、答申後の議会運営委員会で、2月定例市議会では、代表・個人質問とも大項目単位での分割答弁を試行することとしました－

分割答弁について、ご意見等がありましたら、議会事務局調査課までお寄せください。

(TEL) 086-803-1535

(メールアドレス)

chousaka@city.okayama.jp

常任委員会審査から

審査の過程で特に議論となった点について、委員長報告の要旨を掲載

総務委員会

■暴力団排除等に関する条例

－地域から暴力団を排除し、安全で安心な市民生活の確保、社会経済活動の健全な発展への寄与を目的とするもの－

委員 県条例は暴力団事務所開設について、学校等の施設から200メートルの範囲で距離規制を設けている。市はより広い規制を設けないのか。

市 県も他都市と比較検討し、200メートル規制としており、他都市よりも罰則を強化するには、その合理性、妥当性が必要となる。

委員 特定接客業者も処罰対象とする理由は。

市 事業者にも自覚、責任を持たせ、暴力団の資金源を断ち、

排除を目指すものだが、処罰のみが目的ではなく、事業者が暴力団との関係を断つツールとしても活用してほしい。

■西部リサイクルプラザ整備・運営事業に係る工事請負契約

委員 業者の選定に当たって、なぜ技術よりも価格を重視した配点比率としたのか。

市 リサイクル施設は、他の施設に比べ提案のしどころが少なく、また、先例市を参考にするとともに、学識経験者からの意見も聞いて価格重視とした。

委員 今回の落札者が他県で事故を起こしていると聞いた。安全管理上問題はないのか。

市 災害防止対策書の提出、工事監理、モニタリングを厳重に行うことで、安全管理を徹底したい。

保健福祉委員会



岡山市発達障害者支援センター
(愛称 ひか☆りんく)

■発達障害者支援センターの就学前訪問支援事業

－訪問支援員が保育園・幼稚園からの依頼により園へ訪問し、発達に気になる児童の保護者に計画的な相談・支援を行い専門機関につなぐもの－

委員 保護者がセンターの支援を了解した場合に訪問するのではなく、センターが主体的に巡回訪問するほうがよいのではないか。

市 早期発見、早期支援は大変大切である。保護者の了解が得られない場合は、保育園・幼稚園の先生を通じて理解を得られるようにアドバイスをしながら支援していきたい。

環境消防水道委員会

■水道施設の老朽化に対する対応方針

委員 老朽管を換えていかないと大変なことになるため、平成22年度、23年度とも建設改良工事に60億円程度を支出している。毎年、この支出を続けていくのか。

市 安心、安全な水の安定供給のためにはできるだけ多く、早く、施設を更新したいと考えており、今後も60億円程度は建設改良投資を続けていきたい。

委員 浄水場の非常用発電機は設置してから約40年経過しているとのことだが、部品を常に補給できる体制はあるのか。

市 このディーゼル発電機の耐用年数は半永久的とも言われ、部品についても50年は十分調達できる。

委員 災害などの緊急時に部品調達ができなければ困る。償却年数を計算して、常に新しく更新することを考えておく必要があるのではないか。

市 委員の指摘も参考に、今後の施設の更新計画を考えたい。

経済委員会

■岡山への企業立地を推進

委員 企業立地推進事業について、平成23年度の補正予算で

6,900万円を減額していながら、24年度当初予算でも、ほぼ同額を計上している。

予算計上に当たっての考えは。

市 まだ企業立地が実現されていないため予算執行できず減額補正したが、岡山への企業立地に興味を持っている会社が4社ほどある。24年度は、特にソフトウェア開発事業を展開している会社を誘致すべく、積極的に取り組んでいきたい。

■経済波及効果の把握

委員 おかやま桃太郎まつり納涼花火大会等の経済効果は。

市 平成22年度の調査では、夏のうらじゃと合わせた観光消費額が33億6,000万円余となっている。

委員 経済波及効果を明らかにすることは、予算の判断材料にもなるので、今後も効果の把握に努めてほしい。

建設委員会



まちなかの市営駐車場
～城下地下駐車場～

■市営駐車場管理

委員 市が駐車場を運営するよりも民間に渡していくべきではないか。また、にぎわい創出とのかかわりで、まちなかに増加している駐車場の規制は考えていないのか。

市 まちなかの市営駐車場は、全体のバランスの中で民間を補完する一定の役割があり、必要な施設を都市計画で定めて設置している。引き続き、適正な運営を行っていききたい。駐車場を規制することは難しいが、特に駐車場が多い西川周辺は、人が行き交うようにすることで、土地利用の需要が生まれるよう、西川魅力にぎわい創出事業等を実施していく。

市民文教委員会

■通学路にLED防犯灯設置

一町内会で防犯灯の設置等を行うことが困難な個所で、防犯上危険が認められる小・中学校の通学路に犯罪防止及び安全・安心の向上のため、単位町内会長等からの要望に基づき、市がLED防犯灯を設置するもの一

委員 高等学校の通学路は対象にならないのか。また、保護者やPTAから要望はできるのか。

市 基本的には高等学校は対象としていないが、子どもたちが安全に通学できることが趣旨であり、柔軟に対応をしていく。

また、小・中学校から町内会長へ話をし、その結果、所定の要望書が提出されれば対応するが、通学路に隣接する関係者との調整が必要な場合もあるため、保護者やPTA、町内会長等も交え、調整をした上で提出してもらいたい。

1月臨時市議会

平成24年1月12日に開会し、市長から専決処分の報告を受けた後、平成23年度岡山市一般会計補正予算（第5号）など3件の議案を審議し、全会一致で原案可決・同意して閉会しました。